

第 3 回 大宮駅東口周辺公共施設再編推進本部〈議事録〉

【日 時】 平成28年10月26日（水） 11時00分～12時00分

【場 所】 さいたま市役所 4階 政策会議室

【出席者】 本部長 : 副市長（都市局担任）

副本部長：技監

本部会員：都市経営戦略部参事（代理出席）、財政局長、市民生活部長（代理出席）
経済局長、都市局長、都市局理事、大宮区長、副教育長 以上10名

【議 事】 ① これまでの検討内容の確認

② 方針の骨子について

③ 検討の進め方の確認

< 議事説明 >

議題①～③について、事務局（大宮駅東口まちづくり事務所）から次のような説明があった。

① これまでの検討内容の確認

- ・ 大宮駅周辺、特に東口周辺に点在している老朽化や耐震性に課題を抱える公共施設を集約・複合化し、それによって生み出された用地をまちづくりに活用し駅周辺の再開発や基盤整備を連鎖的に推進している。
- ・ 大宮区役所の移転や市民会館おおみやの再開発ビルへの導入などは、その一環。
- ・ これまでの検討では、大宮区役所の移転先などが議論されてきたが、今後は、大宮区役所や市民会館おおみやなどの公共施設跡地の活用方針や、移転や複合化など将来の方向性が決まっていない公共施設の方針などを定めていくことが目標。
- ・ 本年 1 月に設置した「大宮駅東口周辺公共施設再編推進本部」（以下、「推進本部」という。）において、概ね平成 29 年度末を目途に「（仮称）大宮駅東口周辺公共施設再編／跡地活用全体方針」（以下、「方針」という。）の策定を目指し、まず今年度は、〈原案〉の取りまとめを行う予定。

② 方針の骨子について

- ・ 本プロジェクト「公共施設再編による連鎖型まちづくり」は、大宮駅周辺地域のまちづくりの将来像として示した「大宮駅周辺地域戦略ビジョン 2010」（以下、「戦略ビジョン」という。）に位置付けられている優先プロジェクト。
- ・ 今後は「地区別整備計画」の策定に向けて、まちづくりを具体化・詳細化する段階に入っている。
- ・ 推進本部では、駅前のターミナル街区で検討が開始された「大宮駅グランドセントラルステーション化構想」（以下、「GCS 構想」という。）と連携し、平成 29 年度末に方針の策定を目指す。
- ・ その後、地区毎にプロジェクトチームを立上げ、地区別の整備計画を策定する。
- ・ プロジェクトチーム（PT）の想定としては、以下のとおり。

PT① : 駅前賑わい拠点 PT（大宮区役所跡地、大宮小学校等）

PT② : 地域連携拠点 PT (市民会館おおみや跡地、山丸公園等)

PT③ : その他のエリア PT (大宮図書館、市立博物館等)

- また、大宮区役所跡地は、駅前の基盤整備、すなわち GCS 構想の実現に向けて一旦は暫定的にまちづくり用地として活用することを想定している。
- こうした計画の策定にあたっては、地域の皆様や専門家の意見を導入していくことは大変重要。
- そのため、まずは行政として大きな方向性を方針として示し、その上で、個別のプロジェクトチームにおいて、市民ワークショップや市民参加の意見交換会などを活用し、魅力ある計画を作り上げていきたい。
- また、推進本部においてこれまで検討してきた主な内容 (ダイジェスト) は次のとおり。

【まちの軸に関する方針】

- 中央通りシンボル都市軸 : 駅と氷川参道を継ぐ都市活動の中心、まちのシンボルとなる軸。
- 氷川参道歴史文化軸 : みどりが連続し人々が集う場所、全国へ歴史と文化を発信する軸。
- 一の宮通り賑わい交流軸 : 氷川の杜と駅を継ぐ、歴史や文化、観光が交わる賑わいが交流する軸。

【拠点に関する方針】

- 駅前賑わい拠点 (大宮区役所跡地、大宮小学校等) :

広域交流拠点の形成に向けて大宮駅 GCS 構想との連携を行う。将来的には大規模に土地活用し東日本の拠点性を高める都市機能を導入する。

- 地域連携拠点 (市民会館おおみや跡地、山丸公園等) :

大宮駅とさいたま新都心駅のちょうど中間に位置する拠点として、公共施設の集約によって都市機能の集積することで、地域間連携を強化しまちの回遊性を向上する、連携とネットワークの拠点としていく。

- これらについては、今後、より議論を重ね、方針の骨子として整理を行っていく予定。

③ 今後の進め方について

- 方針の策定に向けた今後の進め方については、次回の推進本部会議で、方針の原案を取りまとめ、それに向けて事務局で準備を進めていく予定。
- 次回、第 4 回推進本部会議は年度内の開催予定だが、幹事会 (部長級会議) やワーキンググループ会議 (課長級会議) (以下、「WG」という。) は随時開催していく予定のため、協力願いたい。
- 来年度は、方針策定に向け、方針 (原案) を磨き上げていくとともに、各 PT の立上げの準備も併行していく予定。

< 報告事項 >

●検討の対象から外れる公共施設について

事務局 : これまでの検討で、施設の性質上またはサービス区域等の理由から以下の 4 施設を検討対象から外す。

- 高鼻コミュニティセンター ○土器の館
- 氷川の杜文化館 ○大宮北公民館

意見等 : 特になし

< 意見等 >

- ・現在の大宮区役所の敷地は、跡地の利用について未定であり、今後推進本部において検討が必要であるが、H31.5の大宮区役所移転、または、その後の解体工事に先立ち、整理しなければならない事項があることから、土地や建物を所有する所管が主体となり、しっかりと取組んでいく必要がある。
- ・大宮小学校は、H32に大規模改修を予定。歴史のある学校のため移転は困難だが、将来的な活用については、校舎等の更新のタイミングを考慮し、まちづくりと連携できる可能性がある。
- ・中部公民館などは、市民会館おおみやの跡地に移転したとしても事業対象区域的には支障はないが、個別の改修計画と推進本部での検討のタイミングの整合が必要。
- ・公共施設マネジメント計画において、公共施設の総量が規制されている中、施設の再編を、大宮駅周辺地域だけで考えることは難しい。
- ・公共施設の再編にあたっては、公共施設跡地の売却といった視点を盛り込むことも重要である。一方で、首都圏広域地方計画に位置付けられている「東北圏・北陸圏・北海道連結首都圏対流拠点の創出プロジェクト」については、大宮の対流拠点機能の強化に向けて、公共施設跡地の利活用の可能性なども含めてPTで議論されていくことが想定されるため、推進本部における検討との連携が必要。
- ・大宮駅周辺などの好立地な公共用地を売却する場合には、土地活用の方向性をしっかりと定めた上で、売却先等も含めて選定していくことが重要。現状では、マンションなどの住宅系が中心となるよりも、経済分野を高めていくことが大宮の拠点性の向上につながることから、まちづくりの将来像に向けた誘導が必要。

< 事務局からの連絡事項 >

- ・ 次回の推進本部会議は、年明け頃に開催予定。
- ・ 幹事会（部長級会議）／WG（課長級会議）は、随時開催予定であり、所管には協力願いたい。

（ 以 上 ）